

父が本校の卒業生で、牛を学びた いという思いが強かったので入部 しました。リードマンの練習をし ていて、うまくできたときが嬉し いです。共進会で上位入賞するこ とと、皆で楽しく部活を続けてい くことが目標です。(2年生、鈴木 仁基さん)



実家は肉牛農家で、将来は家の仕 事を継ぎたいと思い本校を選びま した。そして牛のことをもっと知 りたくて入部しました。力作業が 多いので当初は大変でしたが、最 近は慣れてきました。部員皆が優 しく、良い雰囲気で活動できてい ます。ここで勉強したことを活か して、実家に戻ったときになんで も任せてもらえるようになりたい です。(1年生、岩﨑 蒼空さん)



小さい頃から牛が好きで、牛のこ とを学びたくて牛部への入部を決 めました。牛が身近に感じられる ようになり牛からの愛情表現も味 わえて嬉しいです。牛をリードす る難しさを痛感していますが、 リードマンコンテストで上位入賞 することを目標に頑張っていま す。(1年生、田中優羽さん)

地元の交流を大切に

畜産科の現場実習は近隣 の酪農家に4泊5日の泊 まり込みで行なわれる。ま た文化祭では、地元のアイ スクリームショップに生 乳を提供し、そのアイスク リームを販売するなど地 域交流も活発だ。





熊本県立菊池農業高等学校 牛部 1年生7名、2年生3名、計10名

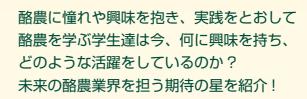
フリーストール牛舎(搾乳牛15頭、経産牛20頭、育成牛14 頭、和牛素牛5頭、和牛肥育10頭)

活動内容: 畜産科のなかでもさらに牛への理解を深めたいとい う生徒が集まる牛部。牛の管理全般を行なう。共進会に向けて 牛洗いや毛刈り、リードマン練習なども行なう。

担当教諭:山下 智先生

(取材=小川)

※学年は2024年1月取材時点です。



NO.16

熊本県立菊池農業高等学校



将来の経営を見据えて 牛の管理だけでなく、生徒達 が将来経営者という立場に たったときのことを考え、乳 価や収支など経営に関する 学びも大切にしている。



乳牛共進会に出場してみたいと思 い、農業高校で畜産科があった本 校に入学を決めました。共進会で 寝ずに皆で牛の世話をしたことは とても良い経験になりました。将 来は実家の酪農を継ぐ予定なの で、もっと牛のことを学んで、いろ いろなことに詳しくなりたいで す。(1年生、金子 崇汰さん)



新型コロナによる規制が緩和され たことで、さまざまなイベントに 参加できるようになりました。牛 部はそこでの活動や地域の方々と の交流を非常に大切にしていま す。こうしたつながりが将来生徒 達の自信になると思っています。 また畜産への理解も大切にしてい ます。生産動物ということを理解 して、人間との関係性をしっかり 作れるような大人になってもらい たいです。(山下 智先生)



小さい頃祖父に連れて行っても らった共進会で、本校の先輩達が かっこよく牛を引く姿に憧れてい たので入部を決めました。目標は 共進会で上位に入賞することで す。それを達成するために日々、牛 の管理に励んでいます。将来はこ こ菊池市で酪農家になりたいの で、新規就農を目指して頑張りま す。(2年生、毛利 琉心さん)



部活見学で一番楽しそうだったの で入部を決めました。共進会では 酪農家さんの牛を引くこともある ので緊張しますが、日頃の練習の 成果で落ち着いて牛を扱えるよう になりました。大会でのリードは もちろんですが、牛の体調の変化 などにも目を向けられるようにし たいです。(1年生、柿本さくらさ



